

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	小細胞性肺癌術後縦隔リンパ節転移症例の予後についての検討
研究期間	西暦 2017 年 8 月 15 日 ～2021 年 12 月 31 日
研究の対象	西暦 2001 年 1 月 1 日 ～2017 年 3 月 31 日に旭川医科大学で肺癌の手術を受けられ縦隔リンパ節転移が陽性と診断された方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病理結果、病歴、治療歴、カルテ番号など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：旭川医科大学）（提供方法：病歴、病理結果などを匿名化の上 USB で持参） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	国立行政法人 旭川医療センター 放射線科 宮野 卓
研究の意義、目的	<p>肺癌縦隔リンパ節転移症例は予後が良好な群から不良な群まで多様な病態が含まれているといわれています。</p> <p>N2（縦隔転移）症例を予後により細分化することで、今後の治療方針の選択に役立てられると考えています。肺門リンパ節転移がなく縦隔リンパ節転移のみがある場合予後が良好とされる報告もあり、N2（縦隔リンパ節転移）症例の細分化が可能か検討していきます。</p>
研究の方法	<p>非小細胞性肺癌（腺がん、扁平上皮がん、大細胞がんなど）で手術をおこなった方で、縦隔（左右の肺に挟まれた部分）リンパ節があった方が対象になります。転移のあったリンパ節の数や部位によって、再発の頻度や部位がどのように変わるかを調査します。</p> <p>診療録や病理結果を用いますので、対象患者さんへの負担はありません。治療方針が変更になることもありません。</p> <p>旭川医療センターとの共同の研究になりますが、当院でデータの解析を行うため当院のデータが旭川医療センターに渡ることはありません。</p>
その他	

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学放射線医学講座 0166-68-2572
中島 香織

研究代表者：

旭川医科大学放射線医学講座 中島 香織